



# 議 会 報 告



平成 18 年度予算特別別委員会が行われ、私も 13 項目にわたる質問をさせて頂きました。  
主な内容を下記に掲載させて頂きます。平成 18 年度予算特別委員会期間 3 月 9 日～24 日

## ひらかた検定について

質 問	答 弁
素晴らしい歴史・文化のあるひらかたの魅力を市民にまた全国に発信するために、市制施行 60 周年事業のひとつとしてひらかた検定を実施してはどうかと提案	「市長答弁」 すでに枚方学などの名称でひらかたの魅力を再発見する試みがなされているが、こうした動きと合わせて、ひらかた検定も 60 周年の一環として検討していきたい。

## 選挙投開票業務の残業手当について

質 問	答 弁
市民感覚と少しズレがあるように思うアルバイトの積極的活用や代休制度を活用されてはどうか	アルバイトの増員も不可能ではない代休制度についても大阪市で活用されており流れであると思う

## シルバー人材センターについて

質 問	答 弁
会員の方が、より多く就業されるような取組みを	就業開拓部会を設置し、今後他市のシルバーも参考に調査,研究を重ね、就業機会拡大に努めていく

## 児童虐待防止について

質 問	答 弁
昨年の決算特別委員会において、虐待について相談できる関係機関の電話番号カードを全小中学校児童生徒に配布するように要望していた事の進捗状況	現在作成中、新学期の早々に全小中学校児童生徒に配布する予定

## マタニティマークについて

質 問	答 弁
妊産婦にやさしい環境づくりの為、厚生労働省は3月10日にマタニティマークを決めた。本市でも母子手帳を渡すときなどに希望者に配布してはどうか	マタニティマークの普及を図る為の方策を関係部署と協議検討していく

## 環境保全都市への取組みについて

質 問	答 弁
公用車を運転する際に、国土交通省のやさしい発進“ふんわりアクセルeスタート”を実施してはどうか、これにより燃費は10%程度改善されるそうである	“ふんわりアクセルeスタート”のプログラムの趣旨や手法を職員に周知し、実施に向けて取り組む
“もったいないキャンペーン月間”を設け、市民一人ひとりへの環境意識を高める運動をダイナミックに行ってはどうか	「市長答弁」 持続可能な社会を作っていく、それに向けたさらなる意識の啓発という趣旨から、新たなキャンペーンとして、省エネルギーやごみ減量をめざしたもったいないキャンペーンを、その意識を定着させていくキャンペーンとして検討していきたいと考えている

## スクールガードリーダー及び防犯講習について

質 問	答 弁
事件や事故に対してプロの目を持つ警察官OBなどのスクールガードリーダーの導入を要望 児童生徒全員に、早期に防犯講習やセルフデフェンス講座の取組みを	CAPの取組みや、大阪府警察本部による誘拐防止教室、枚方警察署の防犯教室、枚方女性消防団による子ども達が自ら身を守る講習会などの取組みを推進していく
	その他自治会について、香里ヶ丘支所について、商工業振興について、防犯対策青パトについて、女性防災リーダー、災害時要援護者について、ニート対策について、自動車駐車場について、禁煙治療について 以上15項目について質問させて頂きました。

